



伊藤 陽一 (バリトン)



堀口 弥生 (ソプラノ)



石井 陽子 (メゾソプラノ)



森 基之 (ヴァイオリン)



椎名 舞 (ソプラノ)



民話オペラ「河童譚」に参加して

初めにお話を頂いた時、自由気ままに一人で歌っている今へアンサンブルは無理だと思いました。

でも、「簡単だから」の言葉に、うっかり「では、やります」と言ってしまうました。

：が しかし：

参考にする音源がなく、学生時代に戻ったように音取りをし、出来たつもりで合わせ練習に行く相手につられる。「ああ 学生時代もこれで悔しい思いをしたな」と思いつつ、又一から練習・久しぶりにじっくり音と向き合いました。

少し分かるようになると今度は「楽しい！」合わせるにつれ動きが付き、それぞれの歌い手がアイディアを出して掛け合いを面白くしようと考える。

「ああ 楽しい!!!」

校友会千葉県支部の皆様、会員の為の【なのコン】です。

大いに活用しませんか？

楽器同士・歌同士・はたまた皆さん一緒にアンサンブルしませんか？

【校友会】だからこそ出来る事、やってみましょう。

砂川 真弓

東京音楽大学校友会

千葉県支部設立十周年

記念なの花コン

サートのお客様からお寄せ頂きました声

をご紹介します。

この感想は当日回収

したアンケートより

抜粋しました。

・十周年おめでとう

ございます。目標に向

かって勉強している

皆さんの演奏はどれも

素晴らしいです。中でも

「告別」「ハバネラ」

「落葉松」に感動しました。

民話オペラも楽しかったです。

・今日は後輩の皆様

の活躍ぶりを見聴き

したく思い、来ました。

また最近のコンサート

でプロフィール

に東京音大卒の方

を多く見ました。これ

もううれしく思いました。

・スペイン歌曲が印象

に残りました。上手

で聴きほれました。

この演奏会、生の